

(3月の果実見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
かんきつ類		12,966	95	-	256	95	-	-	-	3月入荷のかんきつ類は、いよかん、不知火、はっさく、清見、きんかん、あまなつかんなど種類が豊富。いよかんは、愛媛産がほとんどを占めるが栽培面積減と小玉傾向で入荷量は減。不知火は、熊本産(約4割)中心で愛媛産、佐賀産などが出回る。人気の商材だが、入荷増から前年比安の展開。全般に良食味だが小玉傾向にあり、入荷量は前年をやや下回り、価格も前年をやや下回る見込み。
りんご類		6,331	100	6,507	282	90	243	8	0	青森産(約9割超)が中心となり、ごく僅かながら山形産も入荷する。品種はふじ(約8割)を中心に王林、ジョナゴールドなどとなる。産地の在庫量は若干前年を下回るが、市況を見ながらの入荷となり入荷量は前年並。価格は食味良好だが前月に続き前年比安の展開となり、前年比1割減の見込み。
りんご(ふじ)		5,361	100	5,142	275	90	245	8	0	青森産(約9割超)が中心となり、ごく僅かながら山形産も入荷する。産地の在庫量は若干前年を下回るが、市況を見ながらの入荷となり入荷量は前年並。価格は食味良好だが前月に続き前年比安の展開となり、前年比1割減の見込み。
いちご類		5,891	105	6,604	1,178	100	998	-	-	栃木産(約3割)、福岡産、佐賀産、茨城産、静岡産などが出回る。品種はとちおとめ、あまおう、さがほのかが主となる。栃木産とちおとめは、生育停滞気味も回復し3番果中心の出回りとなる。福岡産あまおうは、2月低温のため生育が遅れたが3月は回復の見込みで、栽培面積増もあり入荷量は増加予想。上中旬は2番果、下旬は3番果中心の出回り。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。
みかん類		3,973	100	3,983	268	90	225	-	-	静岡産(約4割)中心に、徳島産、香川産などが出回る。全般に小玉傾向だが、入荷量は前年並。価格は食味良好で消費堅調だが、小玉比率が高かんきつ類との競合もあることから1割減の見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	入荷量(t)	占有率(%)	
メロン類		671	90	982	1,071	100	938	-	-	静岡産(約3割)、熊本産(約2割)、高知産、宮崎産などが出回る。品種はアールスメロンが主となる。生育は小玉傾向で生育遅れも見られる。原油高騰による生産費増と近年1～3月の価格不安定もあり作付面積が減少。入荷量は前年比1割減。価格は入荷減も業務需要が停滞気味で前年並の見込み。
キーウイ		664	120	969	471	70	322	-	-	愛媛産(約4割)、和歌山産、福岡産、神奈川産などが出回る。小玉傾向だが前年のような台風被害もなく生育順調で外観、内容等品質の仕上がりが良好で正品率も高くなっており、入荷量は前年比2割増の見込み。価格は前年高かったことと入荷増により前年比3割減の見込み。